

株式会社 夢真ホールディングス

[証券コード:2362]

夢を真にする会社



YUMESHIN

第37期 中間株主通信

2014年10月1日～2015年3月31日

インタビュー

夢の実現をサポートし 事業の拡大に貢献

事業の概況と当期の見通しについて

財務ハイライト 07

連結財務諸表(要旨) 08

株式の状況 09

会社の概要 / IR伝言板 10

夢真ホールディングスグループの事業領域



人と人とのめぐり合いでみんなの夢を真にする会社

当社の社名「夢真」には、読んで字のごとく、「夢を真（まこと）にする」という意味が込められています。人と人とは他人に思えても必ずどこかで繋がっています。人と人がめぐり合うことで道は開け、可能性は無限に広がっていきます。当社は、株主さま、お客さま、従業員、そして夢真グループにかかわるすべての方々の可能性を追求し、その夢を真にすることをミッションと考えています。



株主さまとともに

透明性のある企業経営を実践し、健全な成長・安定した還元に努めます。

従業員とともに

独自の研修プログラムで、ひとりひとりの成長を援助します。

お客さまとともに

必要な時に・必要な人数・必要な場所に・必要なスキルを持った人材を提供します。

社会とともに

新卒・若手の人材を積極的に採用し雇用の創造に努めます。

建設業界へ若いエネルギーを注入し 増加する建設工事と減少する技術者の ギャップ緩和を促進



第37期第2四半期累計期間（2014年10月1日から2015年3月31日まで）の中間株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

建設業界では、1990年代後半から、バブル経済の崩壊とともに就業者数が減少の一途をたどり、現在ゼネコン各社が抱える技術者の「高齢化」「若手不足」は大きな社会問題となっております。2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックの特需以降も、老朽化したインフラの整備や東京の再開発等、多くの需要が見込める建設業界ですが、今後10年間でその就業者数は一層減少し、「高齢化」「若手不足」はさらに深刻な課題となっていくでしょう。

当社は、この課題に真っ向から取り組むことで社会に貢献し、事業の拡大に努めています。当第2四半期累計期間も、当社の中核事業である建築技術者派遣事業において、ありがたいことにゼネコン各社からたくさんの派遣要請をいただきました。また、年間採用技術者数1,600名という目標達成に向け、採用活動に注力してまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間にて705名の前途有望な新人技術者が入社し、それに伴い、2015年3月末現在の在籍技術者数は2,446名

となっております。

このように建築技術者派遣事業の伸張等によって、売上高は前年比38%増加の10,955百万円となりました。また、営業利益は、当社技術者の稼働率および派遣単価の改善が進んだことにより前年比46%増加の1,271百万円となり、おかげ様で上半期では創業以来最高益となりました。

経常利益および四半期純利益に関しましては、前第2四半期において投資有価証券の売却および子会社株式の売却を行ったことで特別な利益が計上されておりましたが、当第2四半期では、それらの一時的利益がなかったことで減益となっております。

今後も建築技術者派遣事業を中核に据え、さらなる企業価値の向上に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年5月

代表取締役会長兼社長

佐藤 真吾

人材採用担当者インタビュー

——今回は、事業拡大に重要な位置を占める人材採用の現場の声を取材しました。



左：人材開発部 部長 石崎 肇 右：人材開発部 課長 大塚 将和

Q 新人技術者が担う業務について お聞かせください。

石崎 当社に入社した新人は、当社コアビジネスである建築技術者派遣事業において、施工管理業務に携わることとなります。施工管理業務とは、工事に関わる人々の安全管理、工事が円滑に行われるための工程管理、建物が図面どおりに作られるための品質管理などの業務で、主に派遣先であるゼネコンなどの管理者のサポートを行うマネジメント業務です。そしてこの仕事は、未経験から始めることができます。

Q 夢真のビジネスモデルにおいて、 採用業務の位置づけをお教えてください。

石崎 当社は、上場企業で唯一、「建築」の技術者に特化した派遣会社です。未経験者を正社員で採用し、建設業界に送り出す「入口部分」を担うことで確実な成長を遂げています。

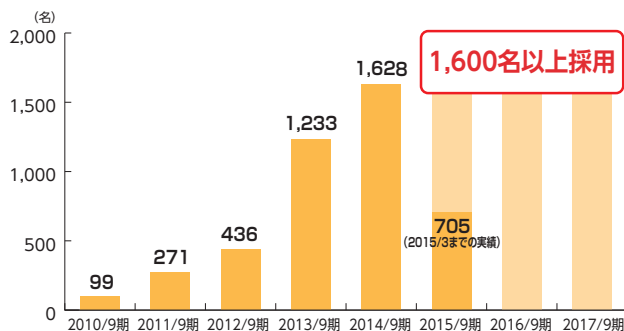
当社の建築技術者派遣事業における売上は、技術者の人数×稼働率×稼働時間×派遣単価で構成されています。建設業界の技術者不足が深刻化する現状において、当社技術者の稼働率は実質フル稼働の状況が続き、また、

稼働時間や派遣単価も緩やかな増加傾向となっております。とは言え、中期経営計画にて掲げた目標を達成するためには、技術者数の拡大が必要不可欠であり、我々、採用担当者に課せられた役割は非常に重いと捉えています。その分、やりがいは一とおです。

Q 採用人数の目標数値とその進捗状況は いかがでしょうか。

大塚 中期経営計画において、2014年9月期以降、毎年1,600名以上の技術者採用を目標に掲げています。おかげ様で、前期（2014年9月期）は1,628名の採用を実現し目標を達成いたしました。また、今期については、中間地点（2014年10月～2015年3月までの6ヶ月間）で、705名の採用実績となっており、また、2015年4・5月合計で300名以上の入社がすでに決定しており、1,600名以上の採用に向け順調に進捗しています。

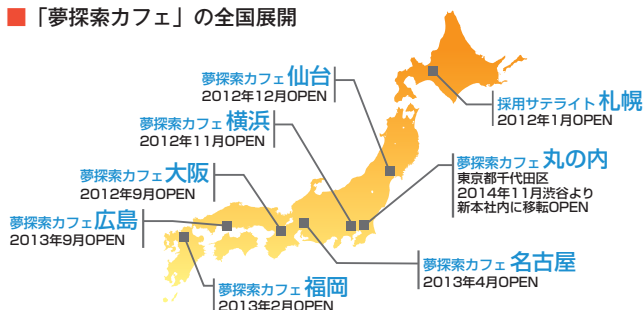
■ 技術者年間採用人数実績と計画の推移



Q 多くの人材を採用するための戦略や、 採用においての夢真の強みを教えてください。

石崎 戦略としては、面接担当者のスキルを標準化し、基準となるマニュアルを作成して、面接担当者全員で共有しています。共通のシステム・スキームがあるため、面接担当者間の差異が生じにくく、全体として効率的な面接を進めることができます。

■「夢探索カフェ」の全国展開



また、応募、呼び込み、面接、内定、承諾のプロセスを一人の面接担当者がすべて行う一元管理体制を整えています。これが、応募者の安心につながり、高い承諾率を実現しています。

大塚 採用における当社の強みは、採用のインフラとして、採用特化型施設「夢探索カフェ」を全国展開し、全国から求職者を募ることができる点が挙げられます。特に、2014年11月、本社を東京丸の内に移転すると同時に、東京渋谷の夢探索カフェを本社内に移転したことで、求職者の数が急増するとともにその対応の効率化も図ることができました。また、未経験者でも派遣可能な案件を幅広く獲得してくる営業力、充実した研修制度も採用面での大きな強みとなっています。

これらの強みを活かし、今後も1,600名以上という採用目標を実現してまいります。



Q 人材面における今後の方針を教えてください。

大塚 私たちは、入社いただいた技術者の方不仅可以長く当社で経験を積んでほしいと考えています。新人技術者一人ひとりに寄り添い、彼らの悩みや課題を会社として早期に把握しフォローすることや、研修をより



丸の内の本社では、カフェ形式の広いオープンスペースで、連日、多数の応募者の面接が実施されています。

充実させることで、長く安心して知識と経験を積み上げることのできる環境を整備してまいります。そして、中期経営計画にて掲げている「5,000名の技術者集団」という目標に向け邁進してまいります。

Q 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

石崎 いかに建築という仕事が魅力的であるかということをお応募者に伝えることが、採用の基本だと考えています。実際、「建物を建てる」という同じ目標に向け、様々な人と連携し、苦勞を乗り越え、そして竣工の日をむかえた時には、言葉にできないほどの感動があります。これほど満足度の高い仕事は他にはありません。日本の雇用環境は改善しているといわれていますが、非正規雇用の方は依然として減少しておりません。このような現状の中、当社はより安定した雇用環境を提供してまいります。

当社の今の成長は、株主の皆様のおかげがあったからこそだと感じております。それと同じように、私たち人材開発部も社員である技術者の成長を支援し、若者の夢の実現をサポートしながら、事業の拡大に寄与してまいります。



事業の概況と当期の見通しについて

ハイライト

- 売上高5期連続2ケタ増収 ⇒ 前年同四半期比37.5%増収
- 営業利益過去最高益を達成 ⇒ 前年同四半期比45.8%増益
- 2015年1月より採用人数が堅調 ⇒ 在籍人数2,400名超

事業の概況

当社は、建設業界の深刻な人手不足を解消すべく、中核事業である「建築技術者派遣事業」に経営資源を集中しています。同事業を成長事業と位置づけ、積極的な新人技術者の採用に取り組み、年間採用1,600名以上を目標に掲げて注力しています。中間地点である2015年3月までに705名を採用し、4月、5月合計で300名以上の入社もすでに決定している状況です。

技術者の採用が順調に進み、在籍技術者の人数も拡大しており、前期末（2014年9月末）に比べ169名増加の2,446名となりました。毎年、人数を積み上げてきたことにより徐々に新人の構成比率が低下し、2015年3月末の在籍技術者に占める新人の比率は前年同月末の60%と比較し、12ポイント低下し48%となっております。派遣単価は経験を積むごとに飛躍的に上昇するため、建築技術者派遣事業における売上総利益率は2.0ポイント上昇しました。

これらの結果、売上高は前年同四半期比37.5%増収の10,955百万円となりました。また、派遣単価改善による生産性の向上に加え、高効率の採用活動により販管費率が2.3ポイント低下しました。これにより営業利益は、前年同四半期比45.8%増加の1,271百万円となり過去最高を更新しました。

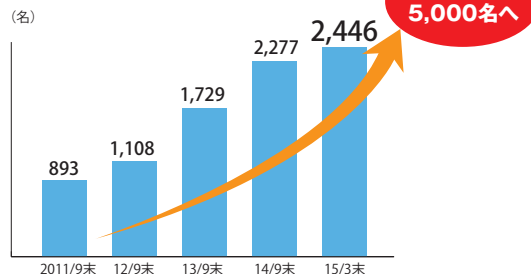
経常利益および四半期純利益につきましては、前第2四半期にて投資有価証券の売却益および子会社株式の売却益あわせて1,257百万円を計上しており、当第2四半期ではこのような一時的利益が発生していないため減益となりました。

当期の見通し

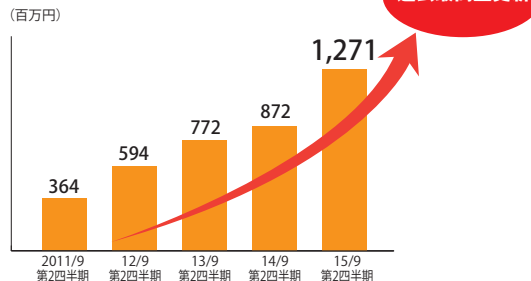
下半期についても引き続き「建築技術者派遣事業」を中核に据え、事業を推し進めてまいります。売上高については22,500百万円～25,500百万円、当期純利益については2,250百万円～3,200百万円を予想しています。

人材の採用について効率的な推進が奏功し、経験を積んだ技術者が着実に増えていることから、これまでの先行投資が結実し、成長フェーズを迎えることとなります。なお、配当性向については、引き続き100%の株主還元を目指してまいります。

■ 在籍技術者数の推移



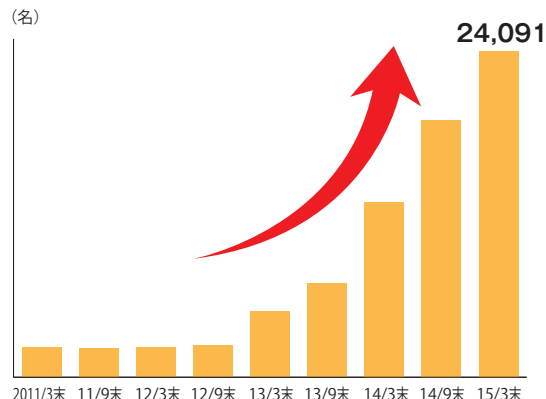
■ 営業利益の推移



株主様の数がさらに増加しました

当社は、株主様や投資家様に対し、迅速かつ適時な経営情報の開示に努めるとともに、株主総会以外の場でも株主の皆様との対話を心がけ、また、説明会実施など様々なIR活動を通じて多くの投資家の皆様と建設的な関係を構築することに注力しています。おかげ様で株主様の数も2012年9月期までの2,000名台前半から大きく増加し、約3年程で10倍以上に拡大しています。今後も、IR活動等を通じ、株主様、投資家様との対話を積極化し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

■株主数の推移



株式会社岩本組を連結化し総合建設事業をスタート

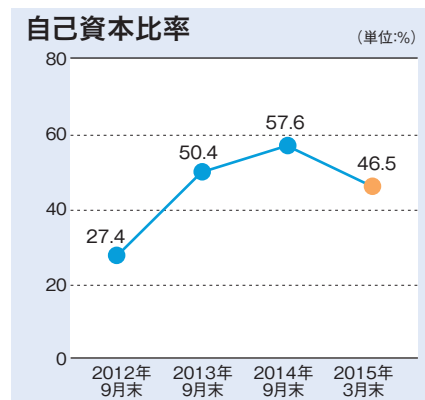
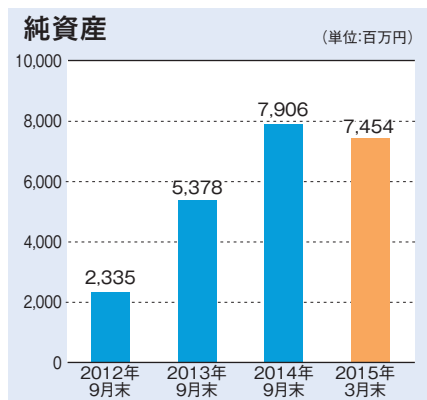
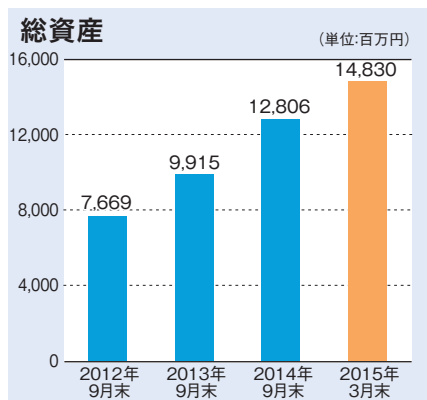
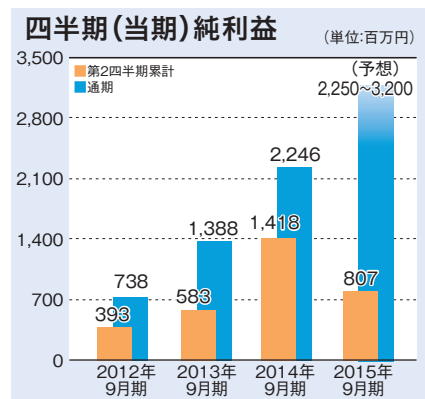
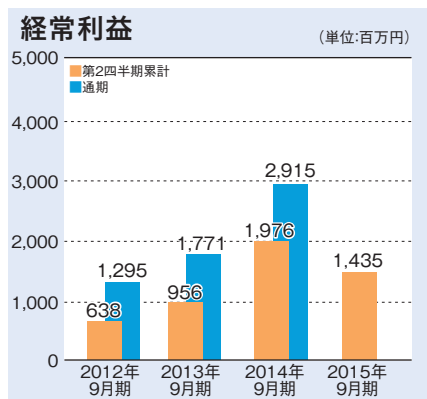
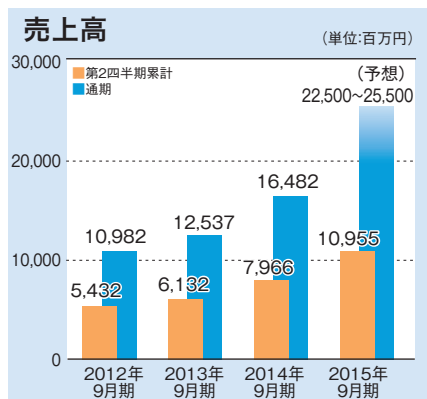
2014年8月に子会社化した株式会社岩本組が、2015年9月期より当社グループの業績と連結され、あらたに総合建設事業としてスタートしました。同社は、創業80年以上の歴史を有し、高級住宅や伝統建築の分野で高い評価を受けています。「最先端技術」を必要とする斬新なデザインと、日本古来より伝わる「伝統技術」を融合した、高度な技術力を強みとしています。また、当社グループの一員として、岩本組の技能職（職人）による当社技術力の底上げや、職人の育成・供給にも踏み込み、当社グループの成長加速に寄与することが期待されています。

■岩本組の施工実績



岩本組は、注文住宅、伝統建築、商業施設など多くの施工実績を有し、高い評価をいただいています。

財務ハイライト



売上高

売上高は、派遣需要の旺盛な推移を背景とした技術者の増員による「建築技術者派遣事業」の伸張、および「総合建設事業」を営む(株)岩本組の連結により、前年同四半期比2,989百万円(37.5%)増加の10,955百万円となりました。

経常利益・四半期純利益

経常利益および四半期純利益に関しては、前第2四半期累計期間にて投資有価証券の売却益958百万円および子会社株式の売却益299百万円をそれぞれ計上しており、当第2四半期累計期間では一時的利益が発生していないため、経常利益は前年同四半期比27.4%減少の1,435百万円、四半期純利益は同43.1%減少の807百万円の減益となりました。

連結貸借対照表

(単位:千円)

区 分	当第2四半期 2015年3月31日現在	前 期 2014年9月30日現在
【資産の部】		
流動資産	10,151,670	8,855,812
固定資産	4,678,590	3,950,202
有形固定資産	2,095,733	1,946,169
無形固定資産	971,219	415,991
投資その他の資産	1,611,638	1,588,041
資産合計	14,830,260	12,806,014
【負債の部】		
流動負債	5,123,103	3,592,543
固定負債	2,252,814	1,306,952
負債合計	7,375,918	4,899,496
【純資産の部】		
株主資本	6,998,131	7,436,548
資本金	805,147	805,147
資本剰余金	3,802,770	3,802,770
利益剰余金	3,403,187	3,841,603
自己株式	△ 1,012,972	△ 1,012,972
その他の包括利益累計額	△ 108,491	△ 60,902
新株予約権	11,352	12,554
少数株主持分	553,348	518,318
純資産合計	7,454,341	7,906,518
負債純資産合計	14,830,260	12,806,014

連結損益計算書

(単位:千円)

区 分	当第2四半期累計 自 2014年10月 1日 至 2015年 3月31日	前第2四半期累計 自 2013年10月 1日 至 2014年 3月31日
売上高	10,955,595	7,966,017
売上原価	8,039,268	5,716,624
売上総利益	2,916,327	2,249,393
販売費及び一般管理費	1,644,537	1,377,168
営業利益	1,271,789	872,225
営業外収益	211,465	1,149,195
営業外費用	47,687	44,467
経常利益	1,435,568	1,976,953
特別利益	1,585	300,556
特別損失	31,363	16,630
税金等調整前四半期純利益	1,405,789	2,260,880
法人税、住民税及び事業税	486,443	887,727
法人税等調整額	69,993	△ 69,277
少数株主利益	42,231	24,058
四半期純利益	807,121	1,418,371

資産

当第2四半期連結会計期間における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて2,024百万円増加し、14,830百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加376百万円、たな卸資産の増加821百万円、有形固定資産の増加149百万円、のれんの増加543百万円等によるものです。

純資産

当第2四半期連結会計期間における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて452百万円減少し、7,454百万円となりました。これは主に四半期純利益による増加807百万円、剰余金の配当による減少1,310百万円等によるものです。

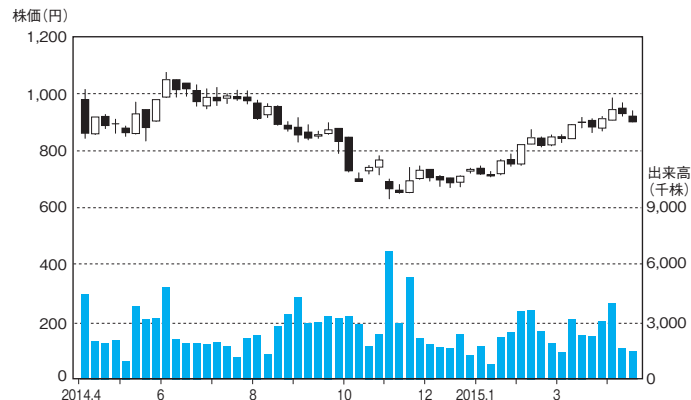
- 発行可能株式総数 160,000,000株
- 発行済株式総数 74,573,440株
- 株主数 24,091名

■ 大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
佐藤 眞吾	24,385	32.70
有限会社佐藤総合企画	7,344	9.85
佐藤 淑子	2,228	2.99
深井 英樹	880	1.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	639	0.86
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	616	0.83
THE BANK OF NEW YORK 133522	592	0.79
崎山 昭仁	556	0.75
崎山 佳香	535	0.72
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	509	0.68

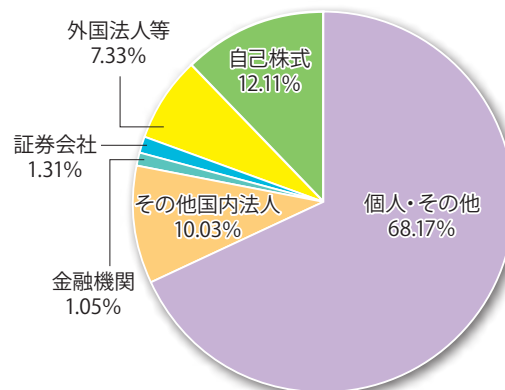
(注) 上記のほか、自己株式が9,032千株（発行済株式総数の12.11%）あります。

■ 株価の推移

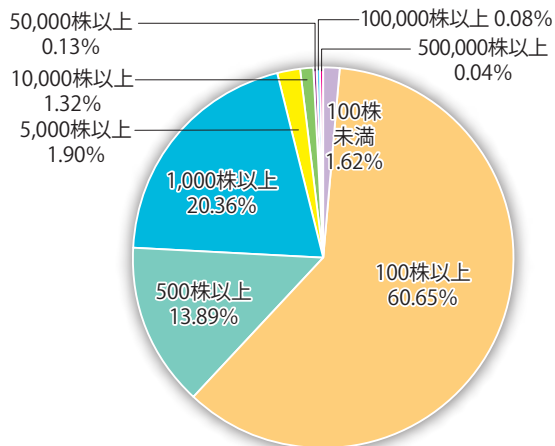


■ 株主分布状況

所有者別分布状況 (株式数比率)



所有株数別分布状況 (株主数比率)



社名	株式会社 夢真ホールディングス	上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQスタンダード市場)
本社	東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング22F	証券コード	2362
設立	1980年1月	役員	
代表者	佐藤 真吾	代表取締役会長兼社長	佐藤 真吾
資本金	8億514万円	常務取締役	大原 智彦
従業員数	連：3,583名、単：2,527名	取締役	佐藤 大央
事業内容	建築技術者派遣事業 エンジニア派遣事業 子育て支援事業 介護事業 総合建設事業	取締役	鈴木 豊彦
		社外取締役	坂本 朋博
		常勤監査役	高橋 宏文
		監査役	六川 浩明
		監査役	楠原 正人

IR伝言板

2014年12月以降のIRスケジュールです。投資家の皆様との対話を大切にIR活動を展開しています。

2014年12月10日	香港コンファレンス（機関投資家向け）
2015年2月22日	IR & 負けない株式投資セミナー （東京・個人投資家向け）
2015年3月3日	個人投資家向け会社説明会（東京）
2015年3月13・14日	東証IRフェスタ2015
2015年4月17日	個人投資家向け会社説明会（札幌）
2014年4月22日	個人投資家向け会社説明会（東京）
2014年5月19日	2015年9月期 第2四半期 決算説明会
2014年5月30日	個人投資家向け会社説明会（大阪）
2015年6月9日	ロンドンコンファレンス（機関投資家向け）

2015年3月13日～14日 東証IRフェスタ2015に参加

「あなたも企業もニッポン経済、投資で未来を広げよう！」をテーマに開催された東証IRフェスタに本年も参加しました。2日間で約17,000名の来場者があり、当社のブースや説明会にも多くの皆様にご参加いただきました。



ホームページのご紹介



当社ホームページの「株主・投資家情報」では、過去の決算短信などのIR情報を見ることができます。

新卒・中途採用強化の一環として「採用ページ」の充実を常に図っています。

ホームページ
<http://www.yumeshin.co.jp/>

株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日
定時株主総会	毎年10月1日から3カ月以内に開催
基準日	定時株主総会：毎年9月30日 期末配当金：毎年9月30日 中間配当金：毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
証券コード	2362

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社にてお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 (通話料無料)	フリーダイヤル 0120-782-031
公告の方法	当社のホームページに掲載します。(http://www.yumeshin.co.jp/)ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載します。

株式会社夢真ホールディングス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング22F



古紙配合率70%の再生紙を使用しています

